

# 幸町工場跡地まちづくりコンセプト

## 幸町工場跡地活用の基本コンセプト

- 長崎の街に新しいライフスタイルと仕事を創出し、「住む・働く・楽しむ」という3つの視点から豊かな暮らしを実現する長崎駅北部の新拠点
- 長崎の歴史的背景や長崎らしさを活かしつつ、少子高齢化の時代においても「来訪者・住民を問わず多世代が交流し、活気あふれる持続可能なまちづくりを先導する拠点」

### 長崎市の現状

- 港町・国際観光文化都市として発展。国内外から多くの観光客が集まる街。
- 造船業・水産業等の基幹産業とともに、新たな産業発展の必要性。
- 多くの若者が他都市に流れており、新たな雇用の創出が課題。
- 高齢化率も上昇の見込みであり、少子高齢化の対応も急務。

### 幸町工場の立地状況

- 新幹線開業を控えるJR長崎駅からも程近い好位置に所在。
- 7haと大規模な敷地であり、長崎市内の貴重な資源。
- 将来のまちづくりへの貢献が期待されている地域。

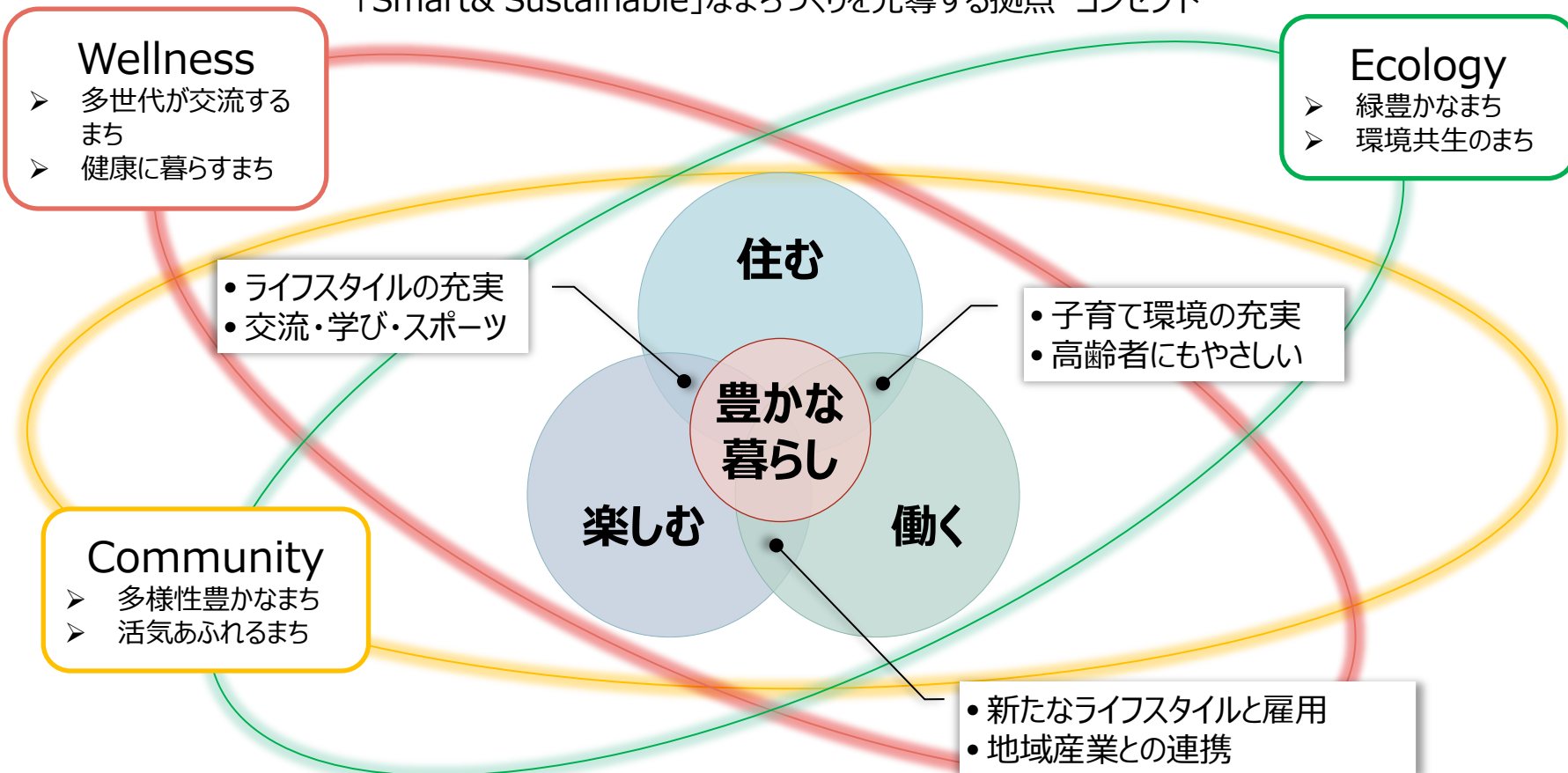
### 長崎市の歴史的背景

- 「文明開化は長崎から」と謳われるなど、日本の近代化の窓口としての役割
- 「核兵器廃絶と恒久平和の実現」を発信する平和都市

# 幸町工場跡地まちづくりコンセプト

- 長崎の街に新しいライフスタイルと仕事を創出し、「住む・働く・楽しむ」という3つの視点から豊かな暮らしを実現する長崎駅北部の新拠点
- 長崎の歴史的背景や長崎らしさを活かしつつ、少子高齢化の時代においても「来訪者・住民を問わず多世代が交流し、活気あふれる持続可能なまちづくりを先導する拠点」

「Smart& Sustainable」なまちづくりを先導する拠点 コンセプト



# コンセプトに基づく用途と機能

➤ 前述の「幸町工場跡地まちづくりコンセプト」を実現する用途や機能として以下を想定する。

## 用途

- 新しいライフスタイルと仕事を創出し、「住む・働く・楽しむ」という3つの視点から豊かな暮らしを実現する用途
- 経済性を考慮しつつ、長崎市のまちづくりにかかる各種計画との整合を図るとともに、長崎市の抱える市政課題の解決に配慮する用途

上記用途に対し、以下の3つのキーワードを踏まえた機能を付加することで活気あふれる持続可能なまちづくりを実現

機能		
Wellness	Community	Ecology
<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>多世代が交流するまち</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>– 子どもから高齢者まで</li> <li>– 子育てもしやすい</li> <li>– 文化・交流拠点</li> </ul> </li> <li>• <u>健康に暮らすまち</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>– 豊かな公園(レクリエーション)</li> <li>– 在街者の健康増進サポート</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>多様性豊かなまち</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>– 様々な住民ニーズに対応できる</li> <li>– 誰もが働きやすい</li> <li>– 国際交流・産業交流</li> <li>– 学び機能</li> </ul> </li> <li>• <u>活気あふれるまち</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>– コミュニティ形成</li> <li>– コミュニティサービスの展開 (エリアマネジメント)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>緑豊かなまち</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>– 緑豊か、景観配慮</li> <li>– 屋上緑化・市民菜園</li> </ul> </li> <li>• <u>環境共生のまち</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>– 省CO2</li> <li>– AEMS(BEMS/HEMS)</li> <li>– 再生可能エネルギー</li> </ul> </li> </ul>

# 今後のスケジュール（予定）

